

【聞く×考える】

38 夢の中

解答例／解答のポイント

LEVEL 1

解答

a:× b:○ c:○ d:×

LEVEL 2

解答例

時間についての考えがあいまいになるぐらい、かなり長い時間歩いたと思われる。距離もかなり長い距離を歩いたと思われる。

解答のポイント

- 「数分か、それとも数時間か、あるいは数日か。彼には分からなかった」と語り手によって話されていて、時間の感覚があいまいになっていることがわかります。
- 「どこへ向かっているのかも分からず、ただ歩き続けた」「遠くの方に、小さな黒い点が見えた」と表現されていることから、かなり長い距離を歩いたと判断することができます。

LEVEL 3

解答例

この話の中で出てくるドアは、「人生における選択の機会や、新しい段階への変化」を表していると考えられます。最初のドアは簡単に開いたことから、予想しない新しい始まりを、2番目のドアは古くて重いことから、重要な選択か、乗り越えるべきものを表していると考えられる。

解答のポイント

- この物語の「ドア」「空間」は、何かの比喩であると考えられます。「何のためにそのドアがあるのか」や「どうしてこの空間にいるのか」という点から、暗示するものを考察することがポイントです。
- 考察は自由ですが、物語の展開や描写とつながる内容であることが大切です。
- 例えば、ドアは、ガラスでできたものでない限り、向こうが見えませんが、だからドアを開けるといことは、新しい世界を見ることを意味することが多いです。また、ドアを開けて別の場所に行くというのは、今までとは違った世界に足を踏み入れることを意味することが多いです。